

～～第8705回～～

毛無山（朝霧）

～R1. 6. 9～

週間天気予報では前日までずっと曇りだったが、小雨の中の山行となった。静岡駅北口を出発したマイクロバスは、新静岡 IC、新富士 IC を経由し、朝霧道の駅で小休憩後に少し戻り麓登山口駐車場に着く。車中でカップを着て降車。ゲート脇の看板を確認し歩き始める。程なく幅広の道の左側に赤い目印を見つけ、大きな石がゴロゴロした涸れ沢を注意深く渡ると本格的な山道となる。岩石が邪魔をする急峻な道を登る。雨のせいか不動の滝は確認できずに進む。途中から合目の標識ごとに小休憩を入れる。六合目辺りからやや緩やかな道になる。県境尾根に到達すると山頂は間近だ。緩やかなアップダウンの後、山頂に着く。山頂は広く、付近には苺の仲間と思われる白い花とバイケイソウが多い。昼食を済ませ県境尾根を戻る。復路は数日前に計画を変更し山梨県側に下ることとし、車を本栖湖経由で下部温泉に回送待機させてある。県境尾根は平坦な道がだんだん斜度を増すが歩きやすい。地蔵峠の手前で標識に従って山梨県側に下っていく。この道も岩石が邪魔することもなく歩きやすい。ただし雨のせいか疲れのせいで視野が狭くなっているのか、道が分かりにくいところがある。そのたびに目印を探したり、後ろに歩く人たちのアドバイスを受けて進む。途中に金山遺跡があり、大名屋敷跡とか女郎屋敷跡とかの説明看板がある。また先日の強雨で散った緑の葉やツツジの花が道を彩る。ようやく着いた湯之奥林道の狭い駐車場には車はないので、運転手に連絡しようとするが圏外。仕方なく林道を下る。その途中で電話が通じ、道路幅の広い所で待ち、車が来たときにはホッとした。車は富沢 IC、新静岡 IC を経由し静岡駅前着。久しぶりの雨中山行で登りはきつかったが、風がなかったことと下り道の快適さに助けられた。個人的にはカップとザックカバーの劣化に気づくことにもなった。

参加者：14名（静岡南10、静岡北1、静岡東3）

天気：雨

地図：人穴

コースタイム：静岡駅 630＝麓登山口 805-20…県境尾根 1150…毛無山山頂 1205-30…湯之奥分岐 1320…湯之奥林道 P1448…乗車 1526＝静岡駅 1720

記録：静岡南支部 YM